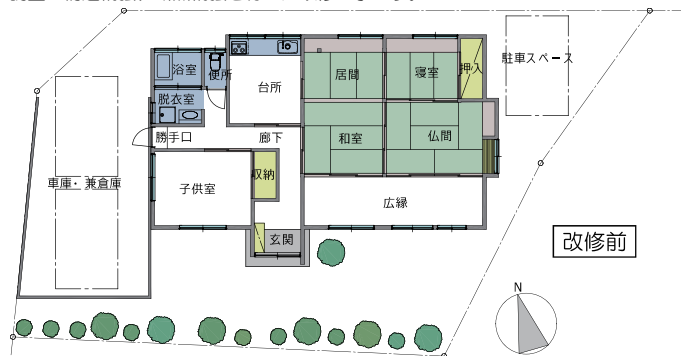


リフォーム前

親から相続した実家は大正5年築造の先祖代々住み続ける築100年超えの田の字型の木造住宅で、昭和時代に一部増築をした約30坪のすまいです。

壊して建て替えるのではなく、リフォームして住むという選択をした建て主は子供5人の7人家族。室内にはかつて生活の中心であった囲炉裏のすで黒くなった柱や梁が残っており、歴史を感じることができる古民家の面影を残して日本住宅の伝統や構造美を感じることができるリノベーション計画です。

建物の内外装の老朽化に伴い、柱・梁などの骨組以外のすべてを撤去し、家族7人のライフスタイルに合わせた大幅な間取りの変更を行い、建物の歪みの調整と構造補強、断熱補強を行った改修工事です。



■改修前の外観



■改修前の室内



■解体後の外観



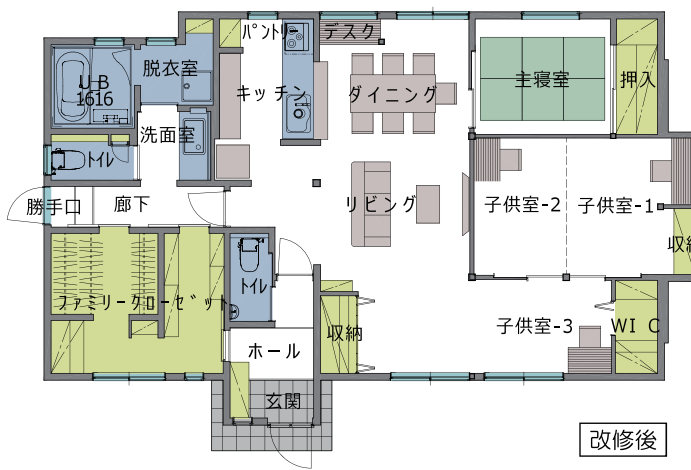
■解体後の室内

リフォーム後

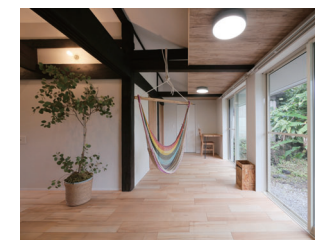


■柱・梁を現しとした古民家リノベーション

大正から令和へ、先祖から子孫へと受け継がれた100年住宅はこれからさらに100年、住み続けられるすまいに。



■天井高さ2.7MのLD



■リビングとつながった子供室



■LDを見渡せる対面キッチン



■おもてなしの玄関



■幅広の造作洗面台



■サイディング張りの外観

天井高さを2.7Mとした室内は低い梁の圧迫感を緩和し、床の段差をなくしたバリアフリーな空間。キッチン横に集約した水廻りは家事動線が短縮され、脱衣室から独立した造作洗面化粧台は2人並んで使える計画で、トイレが2カ所あるのも大家族ならではの配慮です。床は木目の表情豊かなメープルのフローリングを張り、壁は白を基調として天井の梁が強調されるデザインです。

既存のアルミサッシは複層ガラスのハイブリッドサッシにすべて交換することで気密性と断熱性を確保し、床・壁・天井には高性能断熱材を充填して四季を通じて快適に生活できるようにしました。屋根の瓦はコロニアルに葺き替えることで建物の軽量化を図り、筋交いや構造金物の設置と制震ダンパーも各所にバランスよく設置することで構造的な補強を行い耐震性も向上させました。

応募者・施工者	設計者	築年数	構造	建方方式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
有限会社幸福住建	幸福住建一級建築士事務所 福永知哉	105年	在来木造	一戸建	2021年9月	120日間	1,800万	指宿市	内部全体リフォーム